

(様式3)

事業所名 グループホーム鳥海

目標達成計画

作成日：平成25年9月23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	地域住民の様々な意見を取り入れたり、協力を得ながら地域に根差したサービス運営が求められる。	地域住民とのコミュニケーションの機会を作り意見交換等を行う。	運営推進会議への積極的な参加を呼びかけて幅広い意見を聞き、サービスに反映させる。	3ヶ月
2	2	地域住民との交流が希薄になりつつある。	地域行事等への参加をととして住民との交流の場を作り親睦等を深める。	①運営推進会議に参加された住民からの情報や地域広報等を通して地域行事等の情報を収集する。 ②入居者や職員が地域行事等に積極的に参加し親睦を深める。	5ヶ月
3	35	緊急避難時の協力体制に不安がある。	様々な交流をととして事業所の存在を含めて深く知っていただき協力体制を構築する。	地域住民の方に事業所の避難訓練等に参加していただく事で緊急避難時の協力体制を構築する。	7ヶ月
4	6	身体拘束の詳細記録が十分整備されていない。	詳細な情報をもとにして十分な話し合いをおこない今後の支援に反映させる。	①身体拘束の詳細記録を十分整備し専用のファイルにとじて保管する。 ②身体拘束の廃止に向けての話し合い等の参考資料として活用する。 ③必要時は家族等に公開するための証拠資料として活用する。	4ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。